

中津市立三郷小学校 校長 岸原 宏 令和2年度 学校評価の4点セットと進捗状況
■学校の教育目標：身につけた「力」を活かし「深く考え」意欲を高めて「挑戦」する 三郷っ子

育成を目指す資質・能力： 言語能力・考えを形成し深める力				確認・検証・改善 (月 日)					
重点目標	達成指標	計画 (8月 26日)		担当	取組指標に対する 取組状況の確認	達成指標に対する 達成状況の確認	達成指標・取組指標 の妥当性を 検証	改善方策	教育課程の改善 (次年度の教育課程に取組を反映)
		重点的取組	取組指標						
言語能力の 習得	<p>○児童アンケートで、「キーワードを つかってふりかえりができた」 (書けるか言えるかどちらかでされ ばよい)の項目で、◎◎と回答する 児童の割合が80%以上</p> <p>○児童アンケートで、「スキルタイ ムや授業を通して「言葉の力」 ①語彙力 ②話す力 ③聞く力 ④書く力 ⑤読む力 がついてきた。」◎◎と回答する児 童の割合80%以上</p> <p>※強化学期 2学期・・・①②④ 3学期・・・①⑤④</p>	学校	<p>○毎時間のふり返りや、キーワードに よる基礎学力の定着</p> <p>○子どもが毎時間授業でキーワードを使っ てまとめや振り返りをする。</p>	粉土谷 穂谷					
		家庭	<p>○「言葉の力」を習得させる取組</p> <p>○家庭学習に集中できる 家庭環境づくり ○子どもの生活習慣を見直す実践</p> <p>○家庭学習チェックシートの取組に参加し、感想 を書く。 ○生活チェック週間は、特に「親子でメディアコン ロール」に協力する。(2学期・3学期に1回ずつ)</p>						
		地域	<p>○「見守り隊」を中心とした あいさつ・声かけ運動の推進</p> <p>○登下校時に子どもを見かけたら、あいさつや 言葉かけをする。 ○地域での子どもの様子について、学校に伝え る。(学期に1回アンケート)</p>						
		学校	<p>○国語・算数・理科の授業において、習得すべき キーワードを板書に位置づける。</p> <p>○月・火・木・金のスキルタイム(帯の時間)で、確 どと内容を固定した取組を行う。 月一語彙 火一話す聞くスキル 木一短文作成 金一読解プリント</p>						
考えを深める力の 育成	<p>○児童アンケートで、「ペア・グ ループ活動を通して思いを伝え合 うことができた。」◎◎と回答する児 童の割合を70%以上</p> <p>○児童アンケートで、「いろいろな 方法で考えるために「GT」思考ツ ールを活用することができた。」◎◎と 回答する児童の割合を80%以上 (ホワイトボード・ロイノートなど)</p>	学校	<p>○言語能力を活用させる取組</p> <p>○考えを深め活用させる取組</p>	木下 増永 赤尾					
		家庭	<p>○家庭内で会話を増やし、子どもが読 書に取り組むための声かけ</p> <p>○週末読書の声かけをし、子どもたちの取組み を見守る。</p>						
		地域	<p>○主に生活科・総合的な学習の時間 で、GT(すくすくプロジェクト、森林体験 学習)を活用した場面設定</p> <p>○主に生活科・総合的な学習の時間における計 画を立てて、担当職員と打ち合わせをする。</p>						
		学校	<p>○【全学年】考えるための技法を位置付けるた めに、ペア・グループ学習を1日1回以上授業で取り 入れ、思いを共有する。</p> <p>○【1・2・3年】ホワイトボードで自分の考えを視 覚的に表現する。</p> <p>○【4・5・6年】ロイノートの思考ツールで自分 の考えを視覚的に表現する。</p>						
意欲的な人間関係 を構築し 学びを人生や社会に生かそうとする	<p>○共通アンケートの「学校が楽し い」「みんなで何かするのは楽し い」の項目で、当てはまる、やや当 てはまると回答する児童の割合を 90%以上。</p> <p>○児童アンケートで、「言葉の力や 発表の話をいかにして、授業や集 会・行事等で自分の考えを発表す ることができた。」と回答する児童の 割合70%以上</p>	学校	<p>○友だちや、社会との関係を大切にす る心育成と集団づくりの取組</p> <p>○主に生活科・総合的な学習の時間にゲスト ティーチャーを活用した授業を学期1回以上仕組 む。(事前事後学習を通して、教科横断的 に取り組む)</p>	森元 啓東					
		家庭	<p>○各学年の代表の児童が、月に2回の児童朝会 で、生活目標の具体的な取組みと反省を発表の 話型やタブレット等を使って発表する。 ○児童集会・行事・掃除・学級などで、週に1回以 上、感想発表の場を設ける。 ○各学年で、発表についての振り返りの場を週に 1回以上設ける。</p>						
		地域	<p>○主に生活科・総合的な学習の時間 で、GT(すくすくプロジェクト、森林体験 学習)を活用した場面設定</p> <p>○主に生活科・総合的な学習の時間における計 画を立てて、担当職員と打ち合わせをする。</p>						
		学校	<p>○家庭内で「三郷っ子スピリッツ(あい さつ・返事・言葉づかい、整理整頓・時 間)」の励行</p> <p>○「スピリッツがんばりカード」の取組みに参加 し、感想を書く。</p>						
時間外勤務の削減	<p>○1箇月の時間外在校等時間を 40時間以内にする。</p>	学校	<p>○計画的・効率的に会議を運営し、個 別業務に充てる時間の確保と、各担 当の業務内容の精選</p> <p>○ミドルリーダーは、提案内容について適宜、指 導・助言を行い、提案内容の精度を上げる。</p>	宮地 東					
家庭	<p>○担当者・司会者は、会の進行管理と効率的な運 営を行う。</p> <p>○参加者は積極的意見を出し、効率的な会の 運営に協力する。</p>	地域	<p>○時間外のPTAや地域協育等に関わ る会議等の種目内容の精選と、妥 当な終了時間の設定</p>						

チームやまくに
めざす児童・生徒像

○○○○
地心自
域身他
礎にの
を基
誇健康
重を
とし
大切
つ力
思に
のい
童向
・上
生と
徒努
感力
謝を
るの
身
児気
童持
つけ
・生
徒

習得】
空きて働く知識・技能の
力・判断力・表現力等の育成】
未知の状況にも対応できる思考
学びに向かう力・人間性等の涵養】
豊かな人間関係を構築し
学びを人生や社会に生かそうとする
働き方改革
の推進】